

見所その2

最近の噴火のなごり

岩手山の地面を覆っている色相の異なる粗い砂はスコリアと呼ばれます。このスコリアは、岩手山で噴火が繰り返されたことを物語っています。薬師岳のカルデラ周辺で見られる黒いスコリアは、比較的最近の江戸時代（1603-1868）に起こった噴火で噴出しました。灰色の部分は平安時代（794-1185）から江戸時代までの間の噴火に由来するスコリアと岩片で、赤い部分はおよそ 3,600 年前の噴火で噴出されたスコリアです。岩手山に登り、様々な時代の噴火によってできたスコリアの層を観察すると、時間の流れを感じることができます。